第7回「2020 Tokyo Keyaki ミーティング」

11月19日(日)14:00~17:00 アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー会議室 黒澤、三谷、川崎、作宮、戸田、吉田、島田、佐藤、中村

- ①2020年に向けての全体スケジュール(添付書類参照)
- ②2018年6月開催予定のトークショー
 - ・当初6月16日18:00という設定でしたが(3331の1Fコミュニティースペース) トークショー1時間そして2020イベントの説明会、その後、 簡単な立食パーティーというプランが浮上。
 - ・夜ではなく昼間~夕方の開催に変更ということで6月の土日スケジュールを3331に確認する。
 - ・講演者はEテレの「びじゅチューン」 http://www.nhk.or.jp/bijutune/ 出演の 井上 涼さん (H19・視覚デ) に当たる。 日にちの候補をあげ本人と調整する。決定次第お知らせします。
- ③「わ」のテーマ、タイトル、展示案の議論
 - ・戸田、三谷、中村、作宮からタイトル案・デザイン案が出た。(添付書類参照) 大きくは「わ」を表現する案と「3312」や「秋葉原」を表現する案の2方向。 来年春に決定

次に展示方法・作品の集め方についての話がメインになりました。

く展示プランI>

大きな傘として、「わ」というテーマの下に5つの部屋を設定。 出品者はこの5つの小テーマから選択し、出品する。

たとえば ・輪の部屋

- ・和の部屋
- ・WA!(World)の部屋
- ・ワッ! (我、吾) の部屋
- ・話の部屋
- ・次回までの課題として「わ」をテーマに、 上記5部屋計画も含め「こんな展示をしたら面白い、話題になる」と いう企画アイデアやプランを出し、さらに掘り下げること。
- ・議論が進むうちに、添付「会場平面図」で、 このスペースを埋める大変さ(=作品を集める展示する大変さ)を感じた。 予算確保の面でも心配。(過去に経験がない) 2020を成功させるにはやはり、より多くの人の知恵と働きが必要だと痛感。

4.本日の委員会で話し合った「わ」テーマ展の展示プランについて今後、具現的アイデアを 出していくにしても実行委員各人がかなり重荷・負担になっている感があるようだ。 そこで新アイデア!

く展示プランそのⅡ>

会場全体が、2020個の輪っかで展示!というアイデアが出た。以下詳細。

- ・従来の規定物の支給された「輪っか使用」オンリーの展覧会ではなく 出品者が大きさ任意の「輪のかたち」をつかって自由表現すること。 平面、立体、映像、その他OK。
- ・サイズは壁面分譲方式にを採用 たとえば30cm×30cm等の一定面積を最小ユニットとする。 それ以上大きい複数ユニット分面積でもOK。 複数ユニット分面積を個人でもよし。グループでまとめて購入してもよし。
- ・厳密に2020作品ぴったりの数は困難だが ワークショップ制作分も含めて強引に2020作品とする。
- ・数の面でとてつもなく大変だと思うが、これだとなんかやれそうな気がした。 皆、大いに盛り上がる。
- ・また、会場のシンボルオブジェとして(黒澤アイデアの)千本引きを会場入り口に 据えることも賛成。形状は兼六園の雪吊りのようにする。 縄の端には、小さなアート作品や金沢のお菓子等を入れて一回500円で引いてもらう。 これを入場料代わりにするという考え方。

総じて、会場のシンボルはツリー! 会場全体は2020体の輪っかが展示! (もしくは2020の輪を感じてもらう)

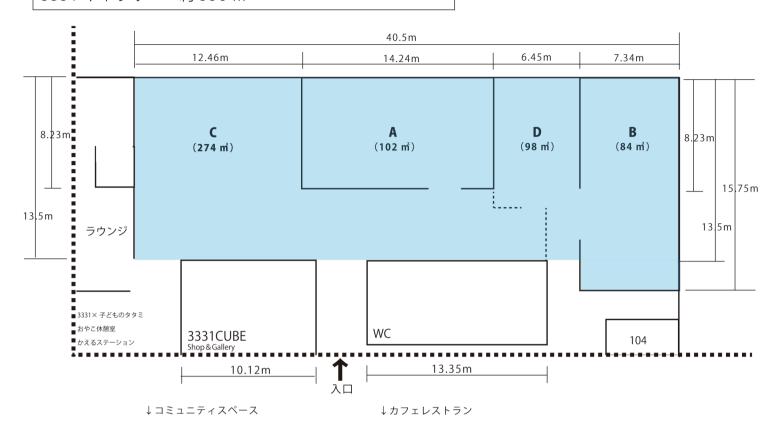
5.次回は12月9日(土) 14:00アドエン4Fで。 そのあと、18:00くらいから忘年会を予定しています。多くの人の参加を!

2020に向けて!

03
05
06
08
10
11
12
2020.01
02
03
04



3331 ギャラリー 約558 ㎡ 全壁面の長さ約177m



参考比較 21 美地下 694 m

